

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...



選手権代表決定戦はPK戦の未敗退!!
残りの高校生活もしっかりやり切る!!

選手権代表決定戦は、強豪校相手に大健闘!!

高校サッカー三年間の集大成のゲームで多くを学ぶ!!



<選手権予選代表決定戦 VS 昭和第一学園 @戸吹グランド>

六年ぶりの選手権二次トーナメント進出を目指しキックオフ!!

9月27日(日)、選手権代表決定戦 VS 昭和第一学園が、八王子市戸吹スポーツ公園で行われました。相手は多摩の強豪校である昭和第一学園です。この一週間は、会場校となる戸吹グランドで二回のトレーニングを行うなど精力的に活動し、片倉高校としては六年ぶりの二次トーナメント進出を目指し、準備万端で代表決定戦に臨みました。

9月からスタートした選手権予選を勝ち上がっていく度に、トレーニングの雰囲気や子どもたちの表情の変化が手に取るように伝わり、代表決定戦でも強豪校相手にいいゲームができるという確信をスタッフ一同感じていました。特に、この一週間は高いモチベーションをキープしてトレーニングができていたのではないのでしょうか。今夏の厳しいTRMで多くの強豪校に揉まれた経験をゲームで全て出し切れれば、こちらにも十分にチャンスがあります。チャレンジャーとして昭和第一学園に臨む片倉高校としては失うものは何もなく、逆に得ることの方が多いのです。子どもたちは、ウォーミングアップから集中力といつも通りのリラックス感ととても良いバランスをキープして代表決定戦のキックオフを迎えました。

ゲーム前の集合写真(上に掲載)を見ても、今までと比較して子どもたちの顔つきや立ち姿勢に少し逞しさを感じませんか?子どもたちは、二つの公式戦の勝利を経て一步步成長しています。三年生にとっては三年間の集大成となる選手権。思う存分、力を発揮して欲しいものです。

昭和第一学園の猛攻に 90 分間耐え忍ぶ!!

ゲームは予想通り、昭和第一学園ペースで進みます。特に、ペナルティーエリアまで飛ばす超ロングスローからゴール前をスクランブルにする攻撃とセットプレーには、こちらの守備陣は最後まで悩まされました。しかし、この日はGK中心に守備陣がよく声を掛け合いながら踏ん張り、危ない場面も粘り強く対応するなど片倉ゴールを死守します。押し込まれる時間は長かったのですが、その分こちらにも守備のリズムができてきて、時折、カウンターからチャンスも作りましたが、相手ゴールを捉えるには至りませんでした。前後半では勝負は決着がつかずに、20 分間の延長戦に突入しました。相手は焦りからか、過緊張で足を攣る選手が見られましたが、こちらは、夏のトレーニングの成果なのか、タフな戦いの中最後まで集中力を切らさずに走り切ることができました。

結局、延長戦でも決着がつかずに、勝負の行方はPK合戦に委ねられました。



<代表決定戦では、前後半+延長戦の 90 分間、最後まで闘い(走り)続けた!! >

PK合戦の末敗戦…。ここから何を学ぶか?

PK合戦は、二年前の**七地区選抜GK対決**という因縁(?)の対決となりましたが、一本止められた片倉高校に対し、五人全員が決めた昭和第一学園に軍配が上がりました。PK合戦は運もありますがそれも実力のうちです。

強豪校相手に最後まで勇敢に闘い続けましたが、健闘虚しく選手権予選は敗退。三年生の高校サッカーはここで終了しました。

「あと一步」、いや、「もう一步」足りなかったことを、この敗戦を通して子どもたちは学んだと思います。大事なものは、実はここからです。

<After the Game>

選手権予選は、大方の予想を覆しPK合戦まで纏れる好ゲームとなりました。私がこの四月に片倉高校に赴任してから観た一番いいゲームでした。

「勝負は一瞬、人生は一生」という言葉がありますが、正に、代表決定戦後に子どもたちに掛けてあげたかった言葉です。今年の選手権を通して、特にこの敗戦を通して子どもたちが何を得たのか?それぞれ違うと思いますが、この貴重な経験はこの先の人生の糧になることは間違いありません。三年生にとって高校サッカーはこれで終わりますが、高校生活はまだ続きます。ここで緩むことなく、選手権での輝きを卒業式まで保ち、最後までしっかりやり切って欲しいと思います。



<この経験が人生の糧となる>